

予 算 要 求 資 料

令和 8 年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

事業名 文化財保護センター環境整備事業費（長寿命化計画外）

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

観光文化スポーツ部文化財保護センター 管理調整係 電話番号：058-237-8550

E-mail：c21807@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 3,747 千円 （前年度予算額： 1,918 千円）

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	1,918	0	0	0	0	0	0	0	1,918
要求額	3,747	0	0	0	0	0	0	0	3,747
決定額									

2 要 求 内 容

（１）要求の趣旨（現状と課題）

国や県の開発事業に伴う埋蔵文化財の発掘調査を行い、記録保存し、その研究、活用を通して県の文化振興に寄与することを目的とする県の教育機関であり、施設管理者として安心安全な環境の整備を実施する。

（２）事業内容

◎センター、飛騨駐在事務所、国府事務所の草刈り

施設内の雑草についてはセンター職員が草刈りを行ってきたが、職員数が足らず、また範囲が広く業務と並行して管理を行うのが困難である。樹木についても定期的な剪定や管理が必要なため、樹木及び雑草について、管理の業務委託を行う。

(3) 県負担・補助率の考え方
県負担

(4) 類似事業の有無
なし

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	3,747	センター内除草作業 1,455
		飛騨駐在事務所除草作業 37
		飛騨国府事務所除草作業 426
		センター内樹木管理 602
		飛騨駐在事務所樹木管理 1,227
合計	3,747	

決定額の考え方

4 参 考 事 項

(1) 各種計画での位置づけ
なし

(2) 後年度の財政負担
草刈は毎年、樹木の管理は2年に1回計上したい。

(3) 事業主体及びその妥当性

事業評価調書（県単独補助金除く）

☐ 新規要求事業

☒ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

老朽化、経年劣化した建物を使用目的に合わせて整備することで、職員及び来館者にとって安心安全な施設づくりを目指す。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

センターを維持管理するための環境整備であるため、指標は設定できない。

（これまでの取組内容と成果）

令和5年度	
	指標① 目標： 実績： 達成率： %
令和6年度	センター内除草作業 6月、9月、10月、11月、12月、2月実施 飛騨駐在事務所除草作業 7月、9月実施 飛騨国府事務所除草作業 7月、10月実施 センター内樹木管理 8月、12月実施 飛騨駐在事務所樹木管理 7月実施 指標① 目標： 実績： 達成率： %
令和7年度	令和9年度当初予算にて追加 指標① 目標： 実績： 達成率： %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない	
(評価)	施設環境を良好な状態で維持していくために、必要性が高い。
2	
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない	
(評価)	施設環境を良好な状態で維持することができた。
2	
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている	
(評価)	草木が生い茂る前に草刈り等を実施するなど、効率的に事業を実施している。
1	

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 施設の安心安全な環境を確保するため、草木の成長に合わせて対応する必要がある。

(次年度の方角性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 敷地内の除草を継続的に、樹木管理を計画的に実施して、安全な職場環境を維持する必要がある。	
組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	